



お金を持っている人は幸せか



お金を持っている人は幸せなのでしょうか。

少し前の話になりますが、ある店舗の七夕飾りの短冊に「お金持ちになりたい」ということが書いてあるのを見ました。書いたのは小学生でした。他の小学生が書いている短冊には、「家族みんなが健康で幸せになりますように」「サッカーの選手として活躍できますように」「幼稚園の先生になりたい」などと書いていました。これらのほうが子どもらしいと思うのは私だけでしょうか。

そこで、「お金を持っているほうが幸せか」について考えてみたいと思います。これまでも何度もこの青少年育成センターで紹介した、「瀬戸内寂聴さん」は次のように答えておられます。

・・・お金のある人は、欲しいものは何でも買えるかもしれないけれど、欲しいものを手に入れようと思って一生懸命努力する人の楽しみは分からないんですね。お金があつたら、あれを欲しいと思うとパッと買える。そんなのはつまらないし、その物にたいする愛着も湧きません。なくしたって平気です。でも、あれを欲しいと思って一生懸命頑張ってお金をためて買った人は、それを大切にしますし、それを得た時の喜びは、お金がある人よりも大きいと思います。たとえば家を建てたいと思って、そのために家族がみんな心を一緒にして儉約して、お金がやっとできて家を建ててごらん下さい。どんな小さな家でも、それにたいしての思いや喜びは大変な思いでしょう。・・・

・・・お金で何でもできると思うのが間違いで、そんなにお金が集まってくるはずがないの。あんまり集まると、自分の知らないところで悪いことが行われているのです。勤労して得たお金だけがお金です。・・・

「生きることは愛すること」 瀬戸内寂聴 講談社文庫

いかがでしょうか。寂聴さんの答えに納得ですね。

形あるものは、お金があれば買うことができるでしょう。でも、形のないもの、目に見えないものは買うことができません。「人の命」「幸せ」「愛情」「友情」「絆」「夢」・・・等は買うことができないのです。

今は、世の中で様々なことが起きています。「殺人」「強盗」「詐欺」等のほとんどはお金が絡んでいるように思います。私は、物欲、金銭欲が今の人間を駄目にしたのではないかと思います。当然、お金がないと生活できません。お金は必要なものですが、お金が一番大切なものではないのです。そのことがわからない人が増えているように思います。

「勤労して得たお金だけがお金です」と書いてあるように、お金は働いた対価でもらえるものでないといけないと思います。そのお金が価値のあるお金となるのです。汗を流さずに得られたお金では大切に使うことはないのではないのでしょうか。

みなさんの家庭で、子どもと一緒に金銭のことやお金で買うことのできないものについて話し合ってみませんか。そうすることで、子どものお金に関する価値観が違ったものになるのではないのでしょうか。